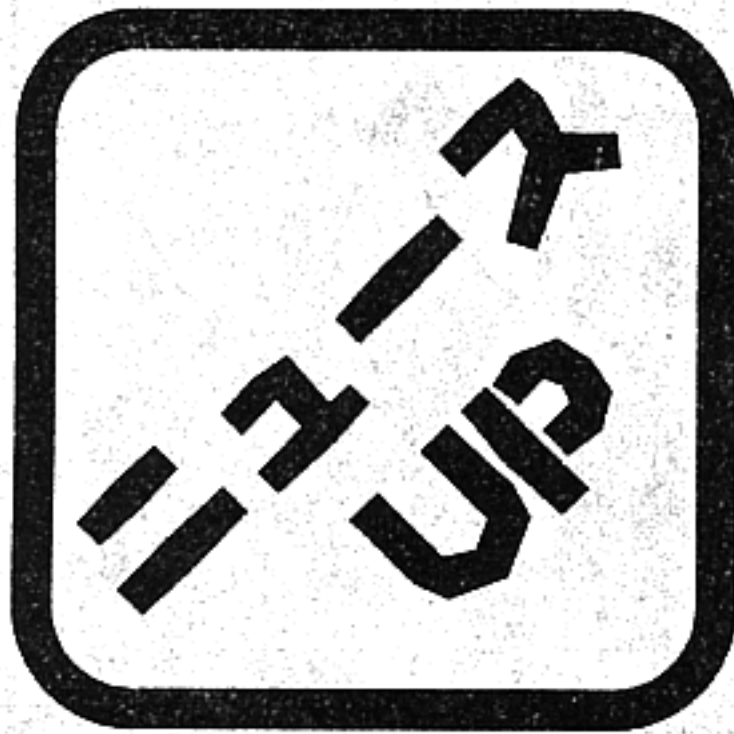


社会部 福田 隆



それは日本から持ち込んだ「三つの工具箱」から始まった。昨年までの約20年間にわたり内戦が続いたスーダン南部では、400万人の難民・国内難民が生まれ、あらゆるものが破壊された。日本のNGO(非政府組織)の支援で、かつて南部最大と称された自動車修理工場が今、息を吹き返そうとしている。自動車の整備は国の復興に欠かせない。この地道な国際支援の様子を現地から伝えたい。

スーダン南部の中心都市・ジュバの中央市場から、ウガンダ方面に抜ける幹線道路を走った。やがて道路わきに、白い看板が見えた。

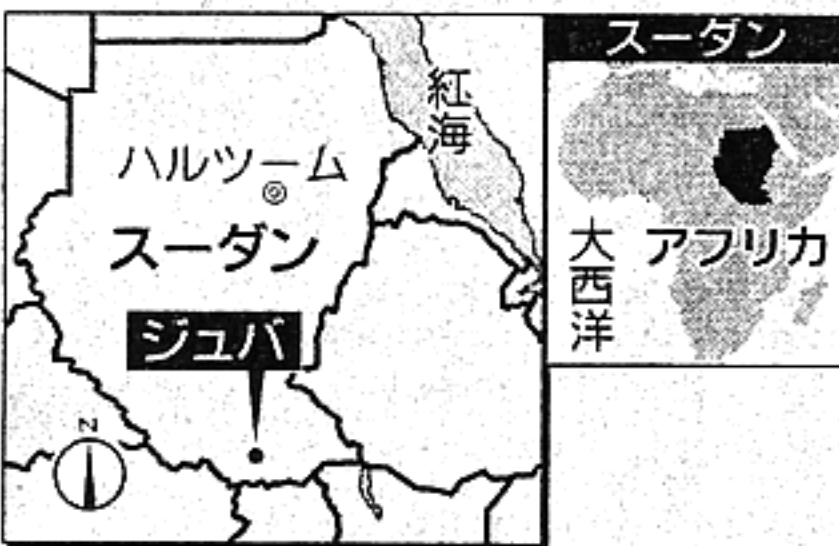
「ジョイント オートモティブ ワークショップ」

そう書かれている。同乗のNGO「日本国際ボランティアセンター」(JVC、本部・東京都)の岩間邦夫さん(42)＝北海道出身＝は感慨深そうに言った。「この状態までもってくるのに、大変だったんですよ」

私は岩間さんの案内で自動車修理工場を見学した。1秒ほどの敷地に、作業棟がL字形に配置され、トタン屋根には内戦中の銃痕が残されていた。「NS」はニュースーダン(南スーダン)、「UG」はウガンダ、黄色の「K」はキンシャサ(コンゴ民主共和国)。

現場で考える

国際支援 スーダンで開花



現地住民に自動車整備を教える井谷正吾さん(中央)＝スーダン・ジュバで8月5日、貝塚太一写す

技術者魂 目覚めさせ

た。「家族はウガンダに逃げた。私はジュバに残ったが、街はスーダン政府軍(北部)に囲まれて自由な移動ができなかった。アラブ語の学習が強制され、反論する知識層は誘拐され、殺害された。食糧も生活資金も不足し、生き延びるのが精いっぱいだった」

第二次内戦は05年1月に終

り、屋根が落ちかけているところもあった。廃車だと思っ

て片付けようとしたところ、サイモンさんから「内戦時に修理を依頼された車だ。まだ、持ち主が取りに来るかもしれない」と言われ、処分の許可を取るため、所有者捜しに奔走したこともあった。

約2カ月間かけて作業ス

部品の調達に出かける。ハード面で苦戦する一方、人材面では希望を感じさせた。四輪駆動車のエンジンをオーバーホールした時、慣れた手つきでピストンリングを交換するサイモンの仕事ぶりは、日本人を驚かせた。

3カ月前に自動車教習所から修理を依頼された乗用車が

技術力は高いと思った。伝えたいことをよくくみ取ってくれる」。井谷さんは手応えを感じていた。

現在、工場には7人のスタッフと4人の研修生がいる。つなぎはボロボロだが、彼らの井谷さんの手つきを見る目は真剣。ビターレさんは「日本人から技術を学び、再び南スーダン一の工場として国の復興に貢献したい」と胸を張る。今年8月からは国連車両を整備する仕事も始まった。

岩間さんや井谷さんの姿から「国の復興に貢献したい」という気迫を感じた。派手さはないが、自分の技術が役立つ場を見つけ、地道に支援する。国際貢献の原点を見た気がした。

国)、黒色の「K」はケニア。修理を待つ車のナンバーは国際色豊かだ。

工場は元々、キリスト教団体「スーダン教会評議会」が運営していた。設立年は定かではないが、十数台を同時に修理できる屋根付きの設備は、南部最大の工場として知られた。72年まで続いた同国の第一次内戦後、避難民の帰還車両整備に大活躍したそう

だ。しかし、83年に第二次内戦が勃発、部品が入らないどころか、スタッフに身の危険が迫り、事実上、活動休止に追い込まれた。

第二次内戦時代から工場長を務めるサイモン・シキさん(51)は、当時をこう振り返っ

た。しかし、昨年4月、岩間さんが初めて現地を訪れた時に見た光景は、衝撃的だった。工場には囲いもなく、敷地内には未修理の車両が何台も放置され、いたる所にヤギが寝そべっていた。

主要な工作機械や工具は「内戦時に盗まれ」(サイモンさん)、残された機材や部品も散乱していた。はりが腐

った。約1000キロ北の首都ハルツームから空路で運ぶが、そこで十分な部品が手に入らない時は、ケニアやウガンダの中古車市場で探した。特にウガンダには巨大な日本車の中古車市場があり、工場のスタッフは片道2日かけて

は頼もしく見えた。

JVCのスーダン事業に加わった井谷正吾さん(40)は岡山県出身だ。日本で17年間、整備士として腕を磨き、ヨルダンで3年間、青年海外協力隊員として働いた。

「スタッフは内戦で長い間、活動の場がなかっただけで、

結した。だが、スーダン南部は「舗装道路が5センチしかない」と称されるほどの低開発状態で、帰還民の輸送には困難が予想された。こうした事情に、カンボジア難民の帰還支援の実績があるJVCが着目、同団体と共同で自動車整備の支援を思い立った。

しかし、昨年4月、岩間さんが初めて現地を訪れた時に見た光景は、衝撃的だった。工場には囲いもなく、敷地内には未修理の車両が何台も放置され、いたる所にヤギが寝そべっていた。

主要な工作機械や工具は「内戦時に盗まれ」(サイモンさん)、残された機材や部品も散乱していた。はりが腐

た。しかし、昨年4月、岩間さんが初めて現地を訪れた時に見た光景は、衝撃的だった。工場には囲いもなく、敷地内には未修理の車両が何台も放置され、いたる所にヤギが寝そべっていた。

主要な工作機械や工具は「内戦時に盗まれ」(サイモンさん)、残された機材や部品も散乱していた。はりが腐

た。しかし、昨年4月、岩間さんが初めて現地を訪れた時に見た光景は、衝撃的だった。工場には囲いもなく、敷地内には未修理の車両が何台も放置され、いたる所にヤギが寝そべっていた。

主要な工作機械や工具は「内戦時に盗まれ」(サイモンさん)、残された機材や部品も散乱していた。はりが腐

た。しかし、昨年4月、岩間さんが初めて現地を訪れた時に見た光景は、衝撃的だった。工場には囲いもなく、敷地内には未修理の車両が何台も放置され、いたる所にヤギが寝そべっていた。

主要な工作機械や工具は「内戦時に盗まれ」(サイモンさん)、残された機材や部品も散乱していた。はりが腐